

「見て」「触って」「調べて」 干潟生物大探索



SCENE 1

7月23日、中央図書館で「干潟生物大探索」と題して科学教室が開かれました。山口県立博物館の学芸員を招き図書館で干潟の特徴やそこに生息する生き物などを学習した後、縄地ヶ鼻に移動して実際に生物を採取しました。約1時間の採取では、テッポウエビやアナジャコ、非常に珍しいマメコブシガニなど20種を超える生物が採取でき、参加者に感想を尋ねると「こんなにたくさんの種類がいるのに驚いた。図鑑で生態を調べてみる。」と笑顔で話してくれました。

中央図書館では、夏休みの企画として「わくわく科学たんけん教室」を開催しています。次回のお知らせは8月15日号に掲載する予定です。

SCENE 2

歴史と文化に触れる 「発掘された山口巡回展」開催中

県内の遺跡発掘調査の成果を公開する巡回展が、歴史民俗資料館ではじまりました。初日となった7月11日には、県埋蔵文化財センター専門員による講演会とギャラリートーク(写真)が行われました。巡回展は8月15日まで開催されています。みなさんも会場に足を運んでみませんか。



SCENE 3

夏本番！笑顔が炸裂 やけの美タフェスタ 2013

やけの美タフェスタ 2013が、7月14日、きららビーチ焼野で開催されました。雨のため午後からのイベントは中止となりましたが、午前中に行われた恒例のビーチバレーボール大会では、灼熱の太陽のもと、砂にまみれ、白熱した試合の連続に、会場はおおいに盛り上がりました。